

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成27年4月9日 (2015.4.9)

【公開番号】特開2013-176456(P2013-176456A)

【公開日】平成25年9月9日 (2013.9.9)

【年通号数】公開・登録公報2013-049

【出願番号】特願2012-41992(P2012-41992)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 3

【手続補正書】

【提出日】平成27年2月19日 (2015.2.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球が流下可能な遊技領域内に、扉部材を開閉可能に備えた大入賞装置が設けられて
いるとともに、遊技に係る動作を制御する制御装置とが設けられており、

前記制御装置は、所定の抽選条件が充足されると少なくとも 1 つの乱数から 1 つの数値
を取得するとともに、当該取得数値にもとづき所定の当たり条件が充足されると前記大
入賞装置を断続的に開成させる当たり状態を生起させる一方、

前記抽選条件の充足にもとづき取得した数値を保留情報として所定数まで記憶すると
ともに、前記保留情報を所定の順序で消化するパチンコ機であって、

前記制御装置は、前記保留情報を参照して前記当たり条件が充足される特定保留情報
が存在するか否かを確認する情報確認手段と、前記遊技領域内に設けられた表示部におい
て前記特定保留情報が存在することを報知する確定演出の繰り返し回数を決定する回数決
定手段とを有しており、

前記情報確認手段が、前記当たり状態の終了後に消化される前記保留情報の中に、前
記特定保留情報の存在を確認すると、前記回数決定手段が、前記繰り返し回数を前記特定
保留情報の数を最大値とした範囲内で決定し、前記制御装置による制御のもと、前記大
当たり状態中に、決定した前記繰り返し回数だけ前記確定演出が繰り返されることを特徴と
するパチンコ機。

【請求項 2】

前記表示部として、図柄を表示可能な図柄表示部が設けられており、

前記制御装置は、前記抽選条件が充足されると少なくとも 2 つの乱数から夫々 1 つの数
値を取得するとともに、当該取得数値にもとづき少なくとも前記図柄の確定表示態様と前
記図柄の変動時間とを決定し、前記図柄の変動を開始させた後、決定した変動時間が経過
すると決定した確定表示態様で前記図柄を確定表示させ、前記図柄を所定の当たり図柄
表示態様にて確定表示させたことにもとづいて前記当たり状態を生起させるパチンコ機
であって、

前記特定保留情報が、前記図柄の表示態様が前記当たり図柄表示態様となる保留情報
であることを特徴とする請求項 1 に記載のパチンコ機。

【請求項 3】

前記制御装置が、前記当たり状態中における前記確定演出を繰り返すタイミングを決

定するタイミング決定手段を有することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載のパチンコ機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記目的を達成するために、本発明のうち請求項 1 に記載の発明は、遊技球が流下可能な遊技領域内に、扉部材を開閉可能に備えた大入賞装置が設けられているとともに、遊技に係る動作を制御する制御装置とが設けられており、前記制御装置は、所定の抽選条件が充足されると少なくとも 1 つの乱数から 1 つの数値を取得するとともに、当該取得数値にもとづき所定の当たり条件が充足されると前記大入賞装置を断続的に開成させる当たり状態を生起させる一方、前記抽選条件の充足にもとづき取得した数値を保留情報として所定数まで記憶するとともに、前記保留情報を所定の順序で消化するパチンコ機であって、前記制御装置は、前記保留情報を参照して前記当たり条件が充足される特定保留情報が存在するか否かを確認する情報確認手段と、前記遊技領域内に設けられた表示部において前記特定保留情報が存在することを報知する確定演出の繰り返し回数を決定する回数決定手段とを有しており、前記情報確認手段が、前記当たり状態の終了後に消化される前記保留情報の中に、前記特定保留情報の存在を確認すると、前記回数決定手段が、前記繰り返し回数を前記特定保留情報の数を最大値とした範囲内で決定し、前記制御装置による制御のもと、前記当たり状態中に、決定した前記繰り返し回数だけ前記確定演出が繰り返されることを特徴とする。

請求項 2 に記載の発明は、請求項 1 に記載の発明において、前記表示部として、図柄を表示可能な図柄表示部が設けられており、前記制御装置は、前記抽選条件が充足されると少なくとも 2 つの乱数から夫々 1 つの数値を取得するとともに、当該取得数値にもとづき少なくとも前記図柄の確定表示態様と前記図柄の変動時間とを決定し、前記図柄の変動を開始させた後、決定した変動時間が経過すると決定した確定表示態様で前記図柄を確定表示させ、前記図柄を所定の当たり図柄表示態様にて確定表示させたことにもとづいて前記当たり状態を生起させるパチンコ機であって、前記特定保留情報が、前記図柄の表示態様が前記当たり図柄表示態様となる保留情報であることを特徴とする。

請求項 3 に記載の発明は、請求項 1 又は 2 に記載の発明において、前記制御装置が、前記当たり状態中における前記確定演出を繰り返すタイミングを決定するタイミング決定手段を有することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明によれば、情報確認手段が、今回の当たり状態の終了後に消化される保留情報の中に、特定保留情報の存在を確認すると、制御装置による制御のもと、回数決定手段により決定した繰り返し回数だけ、特定保留情報が存在することを報知する確定演出が繰り返されるため、確定演出が繰り返された回数以上の数だけ「当たり」である保留情報が存在することを遊技者に報知することができる。したがって、ただ単に「当たり」である保留情報の有無しか報知しないものと比較して、遊技性の向上を図ることができる。

また、特定保留情報が存在する場合であっても、実際の存在数よりも少ない回数しか確定演出が繰り返されないといった状況も起こり得る。したがって、より多彩な遊技を遊技者に提供することができ、遊技性の更なる向上を図ることができる。

さらに、請求項 3 に記載の発明によれば、制御装置が、当たり状態中における確定演

出を繰り返すタイミングを決定するタイミング決定手段を有しているため、「大当たり状態」中において確定演出が繰り返されるタイミングが一様でない。したがって、極めて多彩な遊技を遊技者に提供することができ、遊技性の更なる向上を図ることができる。